



## 三条別院に想う

私は、地元ごぼうさま三条別院のその大きな屋根を見るとなぜか故郷という言葉が思い浮かんでくる。

今お盆を終えてホツとしているところだが、大きな災害が次々とあった年のせいかな今年のお盆ほど無事ということの有り難さを考えさせられたことは無い。

三条は昔から災害の多い町だったようで川を交通手段としてきた時代は便利な土地でその利便性が発展してきたのだろうが、時には水害にあう。そしてまったくの壊滅状態となった文政十一年の三条地震。町の大半が焼ける火災に度々見舞われ、明治十三年の大火では三条町は全焼。災害が続く中でも三条別院は越後の国のご本山として厳しい環境のなかを暮してゆく人々の心のよりどころとして再建されてきた。

私のところは別院と目と鼻の位置にあり、三条にある寺は同じように皆被災し続けてきたわけで活動も一ヶ寺としては大変なので別院中心になさされてきたのだろう。

しかし別院の行事が参詣で溢れていたのは先輩

たちの話では昭和二十五年頃が境だと言う。そうかもしれない、我寺もそうだったようだ。お斎の用意のため赤々と燃えるかまどの火、行事での勝手場の様子が目に浮かんでくる。

恩知らずのことだが寺に生まれ寺の中で育てられてきたのだが、大きくなったら寺にだけは住みたくなないと子供のころは思っていた。自分は長男でなかったこともあり好きなことをして生きてきた。寺に入ることになったのは子供が授かってからのことで、戻ってきてからは近いせいか別院には頻繁に行き来してきた。

私達は人との関わりとその営みの作り出す環境と願いに囲まれて育てられている。

「三つ子の魂百まで」という言葉があるが、記憶に無いことが意外と人生に大きく影響を与え続けているのかも知れない。分娩を促す母体のホルモンは胎児の脳からのサインに反応し出てくるのだということを聞いたことがある。まったく覚えのない事だが苦労したいから生んでくれと叫び、願われて生まれて来ていたのだろうか。

時代の移り変わりの中でまず別院にしつかりしてもらわなければと、歴史の縁なのか促されて別院の報恩講などにかかわってきたような気がする。三条別院がいつの時代も困難を乗り越えて行く勇氣を与え続けて行く場とらんことをまたこの私も願うものである。

(第十五組 正楽寺 齊藤 亮 氏)

○次回の「三条別院に想う」は、

半藤 仙弥 氏(第十二組 慈光寺門徒 より)

ご執筆いただきます

■朝の人生講座が開催されました

去る八月十九日(二十一日)まで、毎年恒例の「三条別院朝の人生講座」が開催されました。朝六時からの晨朝のお勤め後、「夏の御文」が拝読され、教区内で活躍する講師陣による法話をいただきました。十九日は、窪智至氏(二十組常明寺)、二十日は安原陽二氏(十二組安浄寺)、二十一日は藤波龍英氏(十八組西入寺)、二十二日は安富信哉氏(大谷大学教授)による講話で、毎日六十名近い参詣をいただきました。四日間の講座でいろいろな視点から仏教を聴聞させていただきましたが、最終日の安富先生のお話にあったように、聞法とは「三界は安きことなし、猶火宅のごとし」(『法華経』)、「大千世界にみたらん火」(『浄土和讃』)という我々の我執の火によつて、決して焼けることのない



【優しく聴衆に語りかける窪氏】

い「本尊」を、迷いのさ中にある我々自身が見出そうとする営みなのではないでしょうか。さて、今回の「朝の人生講座」は、九月の秋彼岸に行われます。

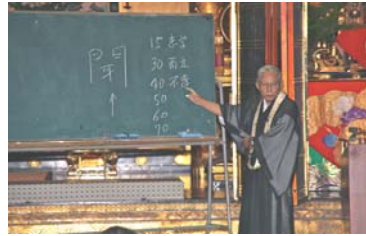
詳しくは、後述の記事をご覧ください。皆様のご参詣をお待ちしております。



【2日目講師 安原氏】



【最終日講師 安富氏】



【3日目講師 藤波氏】



【朝の静寂の中で】

### ■別院報恩講プロモ配信中!

“ You Tube ”にて!

夏も盛りを過ぎ、日に日に暑さの和らぐ様子を感じていると、数ヶ月先に控えておりますお取り越し報恩講がもう間近であると意識されます。

当別院において、例年と同様に十一月五日から八日まで、三昼夜にわたり厳修されます。

この三条別院の報恩講を、出来るだけ多くの方から知っていただきたい。身近に感じていただきたいという願いから、この度、当別院のお取り越し報恩講のプロモーションビデオをインターネット上の動画投稿サイト「YouTube」にてご覧頂けるように致しました。現在、一本のみご覧頂ける状態ですが、新しい動画が出来次第、随時更新していくつもりであります。

皆様、是非ご覧下さい。

<http://www.youtube.com/watch?v=XTUX0Dd4pjo>



【YouTubeにて全世界に公開中!!】

### ■御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話その後、座談会の場を開いております。

どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めをしております。

#### 【九月二十八日(水)】

午前十時 お勤め(御命日) 日中法要

文類偈 行四句目下

念仏讚 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

#### ◎今月の法話講師

井上 知法 氏(第十三組 願性寺)

#### ◇今後の講師一覧

十月 草間 朋哉氏(第十二組 勝覺寺)

十一月 未定

十二月 関根 正隆氏(第二組 長徳寺)

#### ■定例法話会のご案内

毎月十三日には、「両度の命日」と呼ばれている前門首の命日です。また、蓮如上人も御文の中で、この「両度の命日」についてお書きになられ

ています。(四帖目十二通)  
三条別院の一番古い建造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く  
午後二時三十分より(約一時間程度)

◇場所 三条別院 旧御堂

◇御講師

九月 溝口 敏磨 氏(第十五組 覺満寺)

十月～十二月

風巻 和人 氏(第十組 祐光寺)

一月 休会

二月～四月

塚本 智光 氏(第十八組 等連寺)

※風巻・塚本両氏には、各々三ヶ月にわたって

ご法話をいただきます。なお、五月以降の講師につきましては、後日ご案内させていただきます。

### ■秋彼岸・朝の人生講座のご案内

本年も秋彼岸法要並びに人生講座を左記のとおり開催いたします。皆様のご参詣をお待ちしております。

◇日時 九月二十四日(土)～二十六日(月)

午前六時 晨朝 人生講座

午前十時より

午後一時三十分より 日中法要  
速夜法要

◇場所 三条別院本堂

◇御講師

二十四日 渡邊 学 氏(第二十三組 明正寺)  
[真実の故郷]  
まこと ふるさと

速夜法要 中富 正純 氏(第二十三組 福照寺)  
[今を生きる]

二十五日

人生講座 春日 順一 氏(第十四組 西樂寺)  
[後世を祈る]

日中法要・速夜法要 村山 教二 氏  
(元県立三条高校教諭)

[「行に迷い信に惑い」]

二十六日

人生講座 田澤 一明 氏(第十九組 明誓寺)  
[はじめに尊敬あり]

日中法要 藤波 法英 氏(教区駐在教導)  
[人間であることの問い]

※二十四日の午前には、教区御遠忌事業「帰敬式受式者の集い」が開催されます。それに伴い、初速夜は音楽法要で勤まります。西洋音楽の手法による仏教讃歌を伝統的な勤行に取り入れた法要です。ぜひご参詣下さい。

また、二十五日におとききをご用意いたしますので、ご希望の方は九月二十日(火)までにご連絡ください。

また、八月同様、人生講座終了後、簡単な朝食をお配りいたします。  
(詳しくは別紙案内をご参照ください)

### ■本山御正当報恩講団体参拝のご案内

来る十一月二十一日～二十八日まで七昼夜にわたり、真宗本廟(東本願寺)で御正当報恩講が勤まります。そこで、当別院では例年のように、「坂東曲」に遇いに、御満座に向けて団体参拝を計画しております。

また、本年は阿弥陀堂の修復にあたり、御本尊を阿弥陀堂から御影堂へと御動座することということで、「動座式」にも参詣させていただこうと考えております。御動座にあたり、阿弥陀堂・御影堂にて勤行があり、記念法話が行われます。

本年は宗祖

親鸞聖人七五

〇回御遠忌の

節目でありま

すので、お誘

い合わせのう

え、皆様の多

くのご参加を

心よりお待ち

しております。

(詳しくは別紙案内をご参照ください)



【坂東曲】

### ■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、同朋会館一階 事

務所にございます宿泊者帳に記帳していただき、シートクリーニング代としまして、五〇〇円いただいております。

また、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

### ■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によって護持されてきました三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇うことを通じて、ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となることを願い、奉仕研修会を開いてみませんか。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会をお申し込みいただく方(団体)へ、冥加金としまして左記のとおり頂きます。

#### ◎冥加金

- ・日帰り 一、五〇〇円
- ・一泊二日 二、五〇〇円

#### ◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

- ・朝食代 五〇〇円
- ・昼食代 一、〇〇〇円程度
- ・夕食代 一、三〇〇円程度

### ■三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各ご門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。

ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院御影巡回がより多くの方々のお念仏をいただける場となるご縁となりますことを、願っております。

※曜日・時間等は昼夜問わず、皆様のお仕事の後などご相談させていただきます。

### ■三条別院有志の会について

三条別院では「有志の会」と称し法話や座談会(茶話会)など、近隣の方をはじめ、有縁の方にお集りいただいております。

このたびの「朝の人生講座」では、前日の清掃から当日の受付、朝食の配布まで、ご奉仕いただきました。講座終了後は、静かな本堂で誰からともなく会員が集まり、法話の感想などを話し合っていました。

現在十余名の有志の皆様によって活動しておりますが、「三条別院有志の会」では、より多くの方にご参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でも来院くださいますようお願い申し上げます。お問い合わせは三条別院まで。

### ◇◇編集後記◇◇

別院の夏の風物詩の「朝の人生講座」が行われた。本年も、正信偈をお勤めし、夏の御文を拝読させていただいた。掌は、汗でびっしょりである。

さて、前号でご報告させていただいた通り、七月に松浦書記とともに、列座の兼務を拝命した。

別院に勤務して、さまざまなお話しする機会があるが、御本尊を前にして感ずる心は人それぞれなのだと感じる。蓮如上人は「報恩謝徳」といい、ある方は「ああ、ありがたいな」といい、ある方は「厳粛な気持ちになる」といい、ある方は「心が落ち着く」という。

一方で、「御本尊を直視することができない」「御本尊が怖い」と表現する人もいた。

私自身はどうかというところ、毎朝、御本尊の前に座らせていただいていることは「苦しい」ということである。お朝事の途中で「逃げだしたい」という気持ちにもなることもある。ふがいない自分が「恥ずかしい」と感じることもある。ごまかしている自分が「汚い」と感じることもある。報謝の心よりも慚愧の気持ちというか、しかし、「慚愧している」といってしまうと嘘になるような、そんな気持ちである。二年間勤めて、その気持は変わることはない。むしろ強まっていると感じることもある。

「列座」という任務をいただいて、その気持はますます強まるだろう。だからこそ、明日からも毎日、御本尊の前で手を合わせさせていただきたいと思う。

(斎木)